

平成25年度 活動報告書

Annual progress report



NEWS

生涯現役夢追塾が平成26年度よりスタート!

北九州市社会福祉協議会・里山を考える会共同事業体として5年間の指定管理者の選定を受け、平成26年4月から生涯現役夢追塾の運営を行います。



北九州市エコライフプラザでの活動

北九州市エコライフプラザは平成14年11月にオープンして以来、環境にやさしいライフスタイルを啓発してまいりました。この取り組みが市民に浸透し、企業の環境活動も促進され、役割を全うすることができたため、閉館の運びとなりました。これまでお世話になった皆様へ感謝申し上げます。環境に配慮した商品は、引き続き北九州市環境ミュージアムで提案してまいります。併せて、今後の活動にもご支援を賜りますようお願いいたします。

PUBLISH

東田地区・周辺地区の情報誌

情報発信のみならず、自分たちが面白いと感じることを掘り起こし、問題だと考えることを提言しながら、東田の文化をつくりだすためのフリーペーパー。年2回発行しており、商業施設や商店街等、地区内60カ所に置いています。



山田緑地をフィールドとした活動

平成25年度をもって当団体による山田緑地の指定管理業務を終了いたしました。長い間ご支援頂き、ありがとうございました。

森の子育て支援事業 森の育ち場

- いっぱいぼ (3~6歳児) 週4回実施 **1,945名**
- みちくさ (乳幼児) 週1回実施 **860名**

子ども一人ひとりの主体性を尊重し、やりたいことを自然の中でのびのびと行う時間を保証する事で、子どもが自ら考え、選択しながら主体的に行動する力を育む「森の育ち場」。子ども同士の関係を形成することで、自分の気持ちや相手を思いやる気持ちが育まれます。



● 片山右京チャレンジスクール **88名**

F1・登山・ロードバイクなど、新しい挑戦を続ける片山右京氏が講師。レースを通し「あきらめずに挑戦する事の大切さ」や「達成したときの感動」を体験することで自立心を育んでいくプログラム。



その他、自然をフィールドとしたプログラム

- 山田の森のヨガ教室 [年間10回実施] **250名**
- 森の写真教室 [年間10回実施] **200名**
- ツリークライミング **50名**
- セグウェイ・ネイチャーツアー [随時] **58名**

北九州市環境ミュージアム

北九州市は北九州博覧祭2001の環境パビリオンとして、北九州の公害の歴史や環境の政策を伝えるため学習センターを設立しました。私達は5年前にこの施設の指定管理者として選定されました。環境学習プログラムの開発、展示の解説を行い、市民に環境の大切さを伝えていきます。

気づきを促すインタープリテーション

専門の知識をもったインタープリター(ガイド)は従来の案内型の説明ではなく、環境問題に対してお客様自身の気づきを促し、主体的に学びを深めていくサポートを行っています。



- 来館者への展示説明
- ワークショップ等の体験学習
- 環境体験科(小学4年生)の受け入れ
※要望に合わせたプログラム提案
- 市民団体・大学・行政・企業の視察対応
- 出張・環境ミュージアム
※スペースワールド、イオンモール八幡東、市内の学校等

年間来場者数 **131,851名**

● 企業・行政・大学への研修実施

JICA、青年海外協力隊、新日鉄住金エンジニアリング株式会社、地方自治体、東京農工大学、北九州市立大学、立命館アジア太平洋大学など

お客様に環境の大切さを伝えるため、自らの技術を磨いています。

- 北九州市のご当地検定「環境首都検定」の取得
- 「森先案内人養成講座」等、伝える技術に関する研修への参加

楽しく環境を学ぼう! エコのお祭り



- ちょいエコホリデー [年3回実施] **1,601名**
- 未来ホテルデー [年1回実施] **2,334名**

6月の環境月間に合わせて開催される環境ミュージアム最大のイベント。市内外の団体が環境ミュージアムに一堂に会してワークショップ・工作・体験・物販等を行う。来館者には楽しみながら環境について考える場となり、出展者には活動のPRや、他団体との交流の場となった。

次の5年もやります!

平成26年度~平成31年度も指定管理者に選定され、引き続き運営を担当することになりました。今回の提案は、「地域資源」をキーワードに行いました。北九州市環境ミュージアムを「環境」の観点から地域資源の「見える化」、「共有」、そして新たな価値をつくる「地域資源化」の流れを産み出す拠点とすることを提案しました。この拠点づくりを成功させ、地域の人が誇れる北九州市環境ミュージアムの創造を目指します。



ライブラリーがリニューアル!!

図書を整理し、ミュージアムショップを充実させ、にぎやかになりました。他すべてのコーナーの位置を変更し、利用しやすくなりました。ガイドが入館されたお客様を笑顔でお迎えします!

NEWS





アジアの若者とつながり アジアの未来を一緒に考える。

● 第8回サステナブルデザイン国際会議 [年1回実施] 14ヵ国 176名

アジアの未来をみんなで考え、想いをシェア。北九州や日本の都市で行われている持続可能な取組みだけでなく、アジアや農村で行われている持続可能な取組みを、コミュニティやものづくりなど生活に身近なテーマや事例をもとに、比較し、共通点を探り、サステナビリティについて考えを深めていく国際会議。共通点を探り、これからの未来をデザインし、ここで生まれた成果を日本だけでなくアジアへ向けて発信します。

手つかずになった竹林を、大切に活用してくれる方に使ってもらう仕組み。

● 北九州里山トラスト会議 [年間約20回実施] 361名



高齢化や生活の変化で手つかずになってしまった里山を所有者からお借りし、大切に活用してくれる方に区画貸しを行っている。土地の整備方法や、竹林整備における安全管理講習会、里山の自然をより身近に感じてもらうための自然観察会や収穫祭、会議などの活動を月1~2回ペースで行っています。

森先案内人養成講座

[年間4回実施] 29名

講師 萩原裕作氏 ※岐阜県立森林文化アカデミー
インタープリター(ガイド)のスキルアップ講座。自然や都市をフィールドとし、「伝え方」や、プログラムの組み立て方など、プログラム・マネジメントから実践スキルを学ぶ研修を行っています。



まちの自慢！賢いエネルギーのつかい方を伝えるツアー

● 東田地区のココがスマートを巡る！ココスマツアー 176団体 2,483名

ガイドが案内する様子

東田地区のエネルギーに関する取組みであるスマートコミュニティ創造事業を専門ガイドが紹介するツアー。平成22年度から東田で実施されており、平成24年9月から里山を考える会の自主事業としてスタートしました。関連施設や事業自体の概要説明だけでなく、この地の背景も含めた案内や参画企業との協働によるスペシャルトークは好評を得ており、既に累計約4,000名の方にご参加頂いています。

「里山」とは、昔から脈々と受け継がれてきた自然と共生しながら暮らす人間の知恵。「里山」のアイデアを、現代を生きる私たちの生活に応用してみる。そんなことを日々研究しております。「つなぐ活動」「自然をつかった活動」「都市での活動」をテーマとした私たちの活動をご紹介します。

つなぐ活動



働く人・住む人・訪れる人がつながり、コミュニティをつくる。

● Share! 東田まつり [年1回実施] 14,897名

Share(シェア)を日本語にすると「おもちゃ・わかちあい・おすそわけ」。みんなが、自分の出来るコトを持ち寄ってつくる祭。参加者全てが自分なりの「まち」との関わり方を探し出す手法として、Share!をテーマにコミュニティづくりを行っています。

自然をつかった活動



自然がもつ力を最大限に活用する [年1回実施] 1,768名

● 第8回もりフォーラム ● まちなかもりフォーラム



認知症の方々をお招きし、自然の中へゆったり身を置いて楽しんでもらうイベント。今回8回目、初の試みとして京町銀天街にて「まちなかもりフォーラム」を実施。認知症の方やそのご家族、学生を含むボランティア、様々な世代が交流しました。

持続可能なライフスタイルも 里山的暮らしのデザインで!

都市での活動

てづくり作家さんの発表 & 交流の場づくり

● 第15回手づくり市場 in 北九州 [年1回実施] 15,237名

手作りで心豊かな暮らしをテーマに年1回開催。全国から、個人作家や企業、福祉団体があつまり、作品の販売やワークショップを通して手づくりの魅力に触れてもらうイベント。本年度は、人気の高まるワークショップを大幅に増やし、来場者にも、手づくり・ものづくりの素晴らしさを感じて頂いた。



第15回手づくり市場の様子

Others

私たちは様々な団体と一緒に
エコ活動に取り組んでいます。

西日本最大の環境イベント 「エコライフステージ」に出展

テーマは「わたしたちの消費行動が未来をつくる」。当会の活動や繋がりのある団体の紹介を行い、今年も、自分たちの生活の中で取り組めるエコ活動やエコな乗り物であるセグウェイの試乗会を開催。

自分たちの強みを活かして、 洞海湾の水環境学習のお手伝い

洞海湾に隣接する地元小学校3校の5年生児童を対象としたムラサキガイを使った海の水環境学習。北九州市環境学習サポーターと共に「児童が楽しく学べる環境づくり」のお手伝いを行っています。

「私たちは、北九州平尾台トレイルランニング レースを応援しています！」

北九州自慢のカラスト台地・平尾台。雄大な自然を愛する人々が集まるこのレースは、多くのサポーターによって支えられています。私たちも、その1人となり同レースを支援しています。

都会サイズの「里山」づくり

新日鉄住金エンジニアリング株式会社の北九州寮(東田地区)敷地内にある地域共生ガーデン「エンジ村」。多様な生物の棲家であり、地域住民との交流の場でもある。ハーブパーティや土いじり、野菜の収穫等を開催。社員の地域貢献の一環として「エンジ村」の使い方を企画しています。



エンジ村での作業風景

